

## PDCAサイクルの実施事例について(一部)

部署・項目	達成目標
ATC(外来化学療法センター)	ATC 外来化学療法を安全に効率的に実施し、患者と家族が在宅で安心できる支援を実践する。
緩和ケアチーム	介入患者数最大60人、平均介入数50人を維持する。
がん相談支援センター	①がん相談支援センターに対する患者の認知度を56.0%とする。 ②がんサバイバーとの協働によるピアサポートプログラムを1件実施する。 ③がん患者の就労に関連した新たな活動を1件実施する。 ④がん相談支援センターにおける患者・家族支援の実態を明らかにするための研究の第1報を学術集会で発表する。 ⑤がん患者指導管理料2の算定件数を500件／年とする。
苦痛スクリーニング	①外来苦痛スクリーニング実施数をさらに増加させる ・外来師長、副師長と月1回の検討会議 ・総合腫瘍科、乳腺科、緩和治療科を中心に ・ATC患者にタブレット端末で行う ②苦痛スクリーニングの医師・看護師に活用してもらう工夫 (苦痛スクリーニング後の緩和ケアの強化) ・苦痛スクリーニングの見方と2016年度の苦痛スクリーニング結果をデジタルサイネージで広報、看護師長会、緩和ケアリンクナース会で広報 ・がん看護専門看護師によるトリアージと外来連携 ・痛み/しびれがNRS5以上の場合のPCT依頼数の調査 ③CTCAE評価と苦痛スクリーニングのしくみづくり
がんリハビリテーション	多職種による周術期管理チームPERICAN(Perioperative team at Cancer Institute Hospital: ペリカン)により、病棟看護師との面談、リハビリ指導、栄養指導など多職種との連携を外来の時点から強化して、手術患者さんの回復促進のために取り組む。
栄養管理部	がん患者の栄養管理の充実を図る目的に栄養指導件数を増やす。

